

## ◆教員養成の理念と目標

札幌大学女子短期大学部は、併設校である札幌大学と共に、建学の精神に基づき、「生气に溢れ、知性豊かな、信頼される教員を養成し、地域の発展に貢献すること」を教員養成の目的とする。

この目的をふまえ、本学が養成に取り組む教員像は、次の5つにまとめられる。

- 1) 広い教養と豊かな人間性を備えた教員
- 2) 愛情をもって子どもを理解し、子どもを尊重する教員
- 3) 確かな理論に基づき、創造性と行動力に満ちた教員
- 4) 郷土の歴史と文化を踏まえ、地域社会の教育を担う教員
- 5) 学校教育を生涯学習・生涯教育の一環ととらえ、地域社会に寄与する教員

### ◇こども学科における教員養成の理念と養成する教員像について

本学が掲げる教員養成の理念を基盤に、こども学科の教育目標及び人材育成の理念を実現する幼稚園教諭養成に取り組むべく次の6つの目標を掲げる。

- 1) 地域と共に地域に根差した保育を行える教員の育成
- 2) 子どもの人格を尊重し、人権を守る保育を行える教員の育成
- 3) 豊かな遊びを創造し、知的好奇心に満ちた子どもを育てる教員の育成
- 4) 言語の仕組みを理解し、言葉の発達を支える保育を行える教員の育成
- 5) 支援の必要な子どもに適切な配慮を行える教員の育成
- 6) スポーツや芸術、自然に親しむ子どもを育てる教員の育成

### <各年次における到達目標> 幼稚園教諭二種免許状

1年次	春学期	教職に関わる科目や基礎演習を通して、教職の意義や教員の使命、幼児教育の基本について理解を図る。 また、教職への意思や情熱を確かなものにし、教職を目指す学生として主体的に学びに向かう姿勢を身に付ける。
	秋学期	教職に関わる科目や基礎演習を通して、教職に求められる基本的な知識や態度を養う。教育課程や具体的な指導法について理解し、幼児教育を取り巻く社会状況の変化、子どもたちの変化による新たな教育課題を主体的に捉える姿勢を身に付ける。

2年次	春学期	<p>教職に関わる科目を通して、教職に関する知識や態度を一層確かなものにするとともに、教育実習に向けて幼児理解の方法や遊び場面の指導などの実践につながる確かな力量を形成する。</p> <p>また、集団において率先して自らの役割を遂行し、社会性や対人関係能力を養う。</p>
	秋学期	<p>教育実習を通して教職の在り方や幼児への関わり、他者との協働の実際を体験し、教職への理解を一層深める。</p> <p>また、教職実践演習を通して教育課程の編成や教材研究など、高度な専門性を展望する姿勢をもつとともに、教職に就く上での自己の課題を自覚し、改善を図る。</p>